EIKI

オールインワンDLP(TM)プロジェクタ

EIP-10V型

取扱説明書

映機工業株式会社

目次

安全上のご注意 2

1. 製品の概要 7
1-1 機能 7
1-2 梱包 8
1-3 本体 9
1-4 コントロールパネル 10
1-5 後部端子 10

2. 取り付け 11
2-1 プロジェクタの電源のオン/オフを切り替える 11
2-1-1 プロジェクタの電源をオンにする 11
2-1-2 プロジェクタの電源をオフにする 11
2-1-3 LED表示ステータス 12
2-2 プロジェクタの画像を調整する 13
2-2-1 プロジェクタの高さを調整する 13
2-2-2 プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する 13
2-2-3 映写の画像サイズを調整する 14
2-3 接続 14
2-3-1 パーソナルコンピュータに接続する 14
2-3-2 メディアプレーヤーを操作する 15
2-3-3 DVDプレーヤーを操作する 19
2-3-4 ワイヤレススピーカーを操作する 20

3. プロジェクタの操作 21
3-1 コントロールパネルとリモコン 21
3-1-1 コントロールパネルを使用する 21
3-1-2 リモコンを使用する 22
3-2 オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー 25
3-2-1操作方法 25
3-2-2プロジェクタのOSD 25
3-2-3メディアプレーヤーのOSD 30
3-2-4DVDプレーヤーのOSD 34

4. 付録 38
4-1 故障かなと思ったら 38
4-2 保守 40
4-2-1 ランプについての安全上のご注意 40
4-2-2 プロジェクタをクリーニングする 42
4-3 仕様 43

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

◆ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 絵表示の例

感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は感電注意を意味します。

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は分解禁止を意味します。）

電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

警 告

電源プラグをコンセントから抜け

使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。

警 告

万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警 告

電源プラグをコンセントから抜け

万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。

警 告

電源プラグをコンセントから抜け

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。

警 告

電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警 告

電源プラグをコンセントから抜け

本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

感電注意

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

水ぬれ禁止

警告

表示された電源電圧（交流100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意を）

ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にご注意ください。

本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。

禁止

本機は接地端子の付いた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。

アース線を接続せよ

注意

電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

⚠注意

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
次のような使い方はしないでください。

* 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
* じゅうたんや布団の上に置く。
* テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

プロジェクタは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、付属のキャリーバッグに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ 付属キャリーバッグ使用上の注意 ◆

付属のキャリーバッグはプロジェクタを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリーバッグはプロジェクタを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れたプロジェクタの上にものを置かないでください。破損の原因になります。プロジェクタをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。

1. 製品の概要

1-1 機能

- 解像度1024 x 768 (XGA)パネル0.7″ DDR DMD搭載
- Zeiss Optical Engineを搭載、1700ANSIルーメンを実現
- 2000:1高いコントラスト比でホームシアターに最適
- ランプ250Wで2000時間、200W 3500時間と長寿命
- 32dBA以下消音化
- ランプはランプハウスごとの交換で簡単に行えます
- 35インチ～300インチまで投影が可能
- 1677万色のフルカラー対応
- アスペクト比: 4:3および16:9のワイド画面に対応
- VGA/SVGA/XGA/SXGA/MACに対応
- NTSC/PAL/SECAM/コンポジット/Sビデオ/コンポーネント(YPbPr/YCbCr)/SDTV(480i)/EDTV (480p)/HDTV (576i、576p、720p、1080i)カラーシステムに対応
- コンピュータ画像自動調整(トラッキング /総ドット数 /画像位置調整/信号検出)
- 電源OFFで、画像調整を自動的に保存
- 7ヶ国語を搭載したオンスクリーンメニュー
- 2W x 1スピーカー内蔵
- プログレッシブスキャン採用でなめらかな画像を実現できるDVDプレーヤー搭載
- ステレオワイヤレススピーカー標準装備
- TVチューナー、ワイヤレス送信機モジュール(2.1チャンネルワイヤレススピーカー用)、メディアプレーヤー(カード互換性: CF、IBM Microdrive、MS、SD、MMC、SM)搭載
- 1つのリモコンで操作可能。ファイブインワンワイヤレスリモコン(プロジェクタ、ワイヤレススピーカー、メディアプレーヤー、TVチューナー、DVDプレーヤー)
- セキュリティ機能: ケンジントンロック

1-2　梱包

◆ EIP-10Vプロジェクタ x 1

◆ 電源ケーブル(US) x 1

◆ PCオーディオケーブル x 1

◆ 電源ケーブル(EU) x 1

◆ VGAケーブル x 1

◆ 単4電池 x 2

◆ リモコン x 1

◆ MAC用アダプタ x 1

◆ 取扱説明書 x 1
クイックスタートカード x 1

◆ ソフト キャリーバッグ x 1

1-3 本体

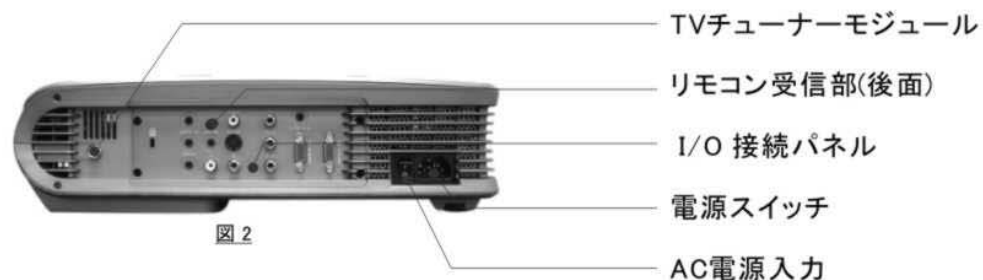
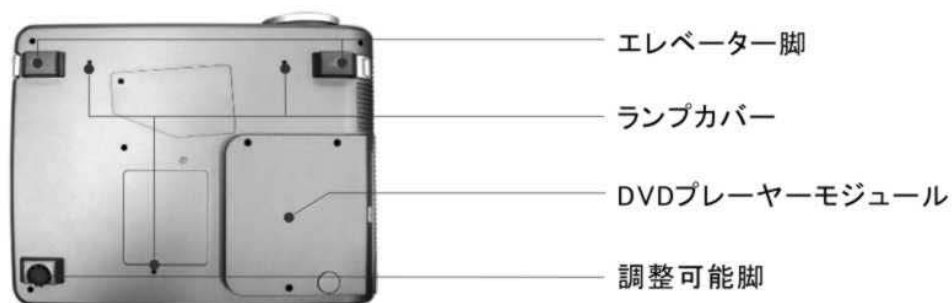
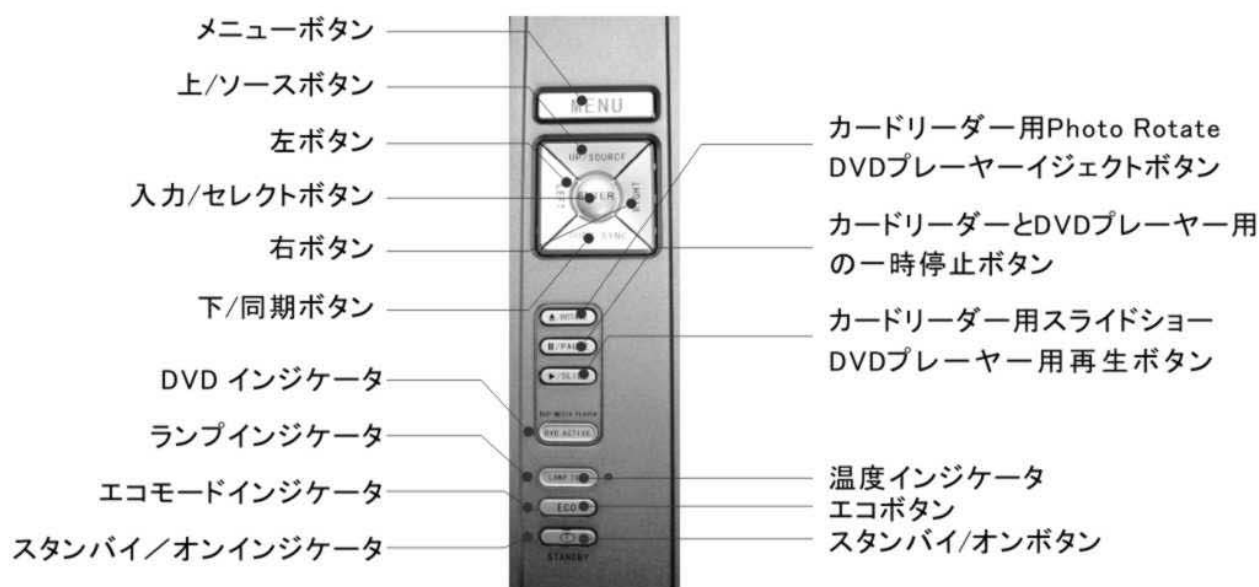
通風孔
リモコン受信部(前面)
映写レンズ
図 1
TVチューナーモジュール
リモコン受信部(後面)
I/O 接続パネル
電源スイッチ
AC電源入力
図 2
エレベーターボタン
メモリカード挿入スロット
DVD挿入スロット
図 3
フォーカスリング
ズームリング
コントロールパネル
EIKI
EIP-10V
図 4
エレベーター脚
ランプカバー
DVDプレーヤーモジュール
調整可能脚
図 5

1-4　パネルコントロール

図 6

1-5　後部端末

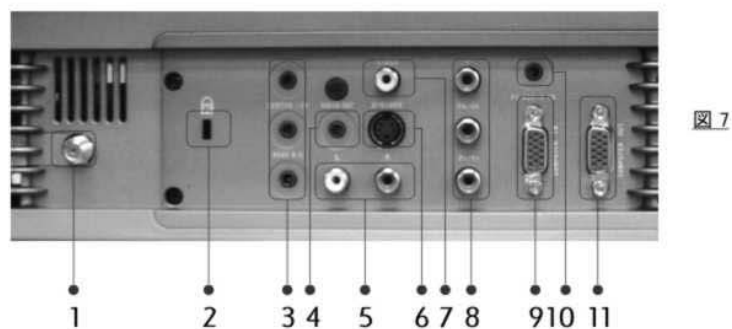



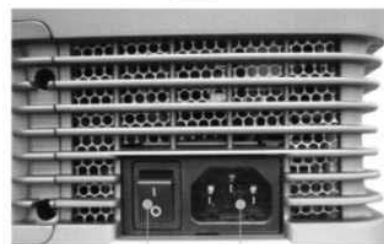
図 7

1. TV入力	7. コンポジットビデオ入力
2. ケンジントンロック	8. コンポーネントビデオ入力(YPbPr/YCbCr)
3. オーディオ出力(5.1チャンネル)	9. VGA入力
4. オーディオ出力	10. PCオーディオイン
5. オーディオ入力(R/L)	11. VGA出力
6. Sビデオ入力	

2-1　プロジェクタの電源のオン/オフを切り替える

2-1-1　プロジェクタの電源をオンにする

1. 付属の電源コードがプロジェクタのAC電源入力に接続されていることを確認してください。(図8)
2. レンズキャップを取り外します。
3. 電源スイッチをオンにします。「スタンバイ/オン」ボタンが緑に点滅し、プロジェクタがスタンバイモードに入っていることを確認してください。
4. コントロールパネルの「スタンバイ/オン」ボタン、またはリモコンの「電源」ボタンを押して、ランプの電源をオンにします。ランプが点灯すると、「スタンバイ/オン」ボタンの緑が点灯に変わります。
5. 起動画面が画面に表示され、30秒間のカウントダウンを開始します。
6. 接続された機器を再生します。
7. プロジェクタは入力信号を自動的に検出します。

図 8

2-1-2　プロジェクタの電源をオフにする

1. 接続された機器をオフにします。
2. コントロールパネルの「スタンバイ/オン」ボタン、またはリモコンの「電源」ボタンを押すと、「プロジェクタの電源をオフにしますか?」というメッセージが画面に表示されます。
3. 表示されているときに「スタンバイ/オン」ボタンを再び押すと、プロジェクタの電源をオフにできます。操作を行わないと、メッセージは5秒後に消えます。
4. プロジェクタは90秒間、冷却されます。(その間の電源オン、オフはできません。)
   注: 冷却中にプロジェクタの電源をオフにしたり、プロジェクタの電源コードを抜かないでください。
5. プロジェクタが冷却したら、緑のランプが再び点滅し、プロジェクタがスタンバイモードに戻ります。
6. 「電源スイッチ」ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。(図 8)
7. プロジェクタの電源コードを抜きます。

2-1-3　LED表示ステータス

状態	スタンバイ/オンインジケータ	ランプステータスインジケータ	温度ステータスインジケータ	エコインジケータ	DVDアクティブインジケータ	注
1. スタンバイ	緑の点滅	–	–	–	–	電源がオンになるのを待ちます
2. 操作	緑	緑	–	–	–	標準動作
3. 冷却	緑	–	–	–	–	90秒間ランプを冷却
4.エコ	緑	緑	–	緑	–	エコモードを使用中
5. DVD使用中	緑	緑	–	–	緑	DVDプレーヤーを使用中
6. ファンエラー	緑	緑が点滅（0.5秒間隔）	–	–	–	ファンエラー。警告メッセージが画面に表示され、プロジェクタの電源がオフになります。
7.温度エラー	緑		赤	–	–	プロジェクタ内の温度が高くなっています:警告メッセージが画面に表示され、プロジェクタの電源がオフになります。
8.点灯直後に温度エラー			赤が点滅（1秒間隔）	–	–	自動的に8秒間クーリング状態二なります。

2-2 プロジェクタの画像を調整する

2-2-1 プロジェクタの高さを調整する

1. 図9、10で示すようにエレベータボタンを押します。
2. 希望する投映角度までプロジェクタを持ち上げ、ボタンを離してエレベーター脚を正しい位置にロックします。
3. 調整可能脚を使用して（図11参照）、投映角度を微調整します。
4. プロジェクタを傾けることによって画像がゆがむ場合、リモコンまたはOSDのキーストーンキーを使用して、画像を調整してください。(図12)
5. ボタンを両側を再び押し、エレベーター脚を正しい位置に戻します。

図 9

エレベーターボタン

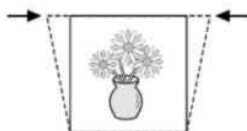
図 10

エレベーターボタン

図 12

図 11

エレベーター脚

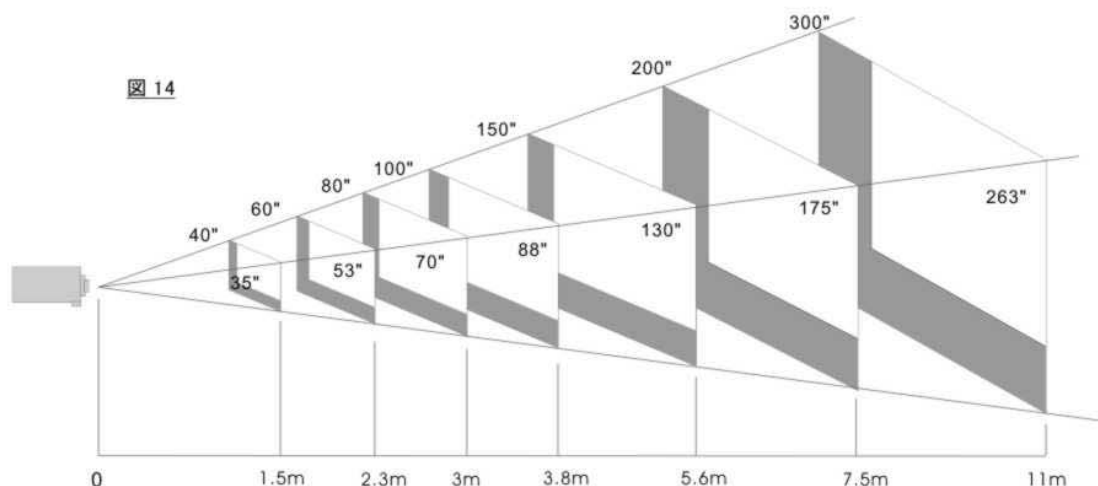
調整可能脚

2-2-2 プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

ズームリングを調整して、ズームインまたはズームアウトします。画像をフォーカスするには、画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回転します。プロジェクタは1.5mから10mの距離でフォーカスされます（最適の距離は1.5mから5mです）。

図 13

ズームリング　フォーカスリング

2-2-3 投影画面のサイズを調整する

図 14

画像までの距離(メートル/インチ)	1.5/60	2.3/91	3.0/119	3.8/150	5.6/220	7.5/295	11/434
最大画面対角(メートル/インチ)	1.02/40	1.52/60	2.03/80	2.54/100	3.81/150	5.08/200	7.62/300
最小画面対角(メートル/インチ)	0.88/35	1.35/53	1.78/70	2.24/88	3.30/130	4.45/175	6.68/263

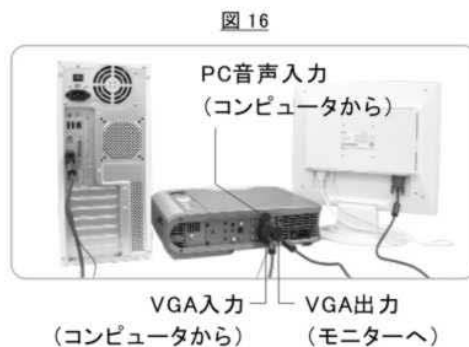
2-3 操作

本機はオールインワンシステムです。他の接続された出力デバイスは、コンピュータ接続(D-Sub)を除いて必要ではありません。

2-3-1 コンピュータに接続する

1. VGAケーブルを使用して、コンピュータをプロジェクタに接続します。(図 15,16)
2. コンピュータの「モニタ出力」機能キーを押します。(図 15のノートブックPCの場合)
3. プロジェクタはソースを自動的に検出します。検出しない場合、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンのソースボタンを押して、コンピュータソースを選択します。

図 15

図 16

2-3-2　メディアプレーヤーを操作する

メモリカードのタイプをサポートできるカードリーダーは、CF/SM/MD/MS/SD/MMCです。

下の寸法は参照用です。

スロット	スロット1	スロット2			スロット3	
タイプ	SM	MMC	SD	MS	MD	CF
	(Smart Media:スマートメディア)	(MultiMedia Card:マルチメディアカード)	(Secure Digital:セキュリティデジタル)	(Memory Stick:メモリスティック)	(IBM MicroDrive)	(Compact Flash Type I/ Type II:コンパクトフラッシュタイプI/タイプII)
長さｘ幅ｘ厚さ(mm)	37x45x0.76	32x 24x1.4	32x 24x2.1	50x21.5x2.8	43x36.4x5	タイプI：43x36.4x3.3 タイプII：43x36.4x5.0
参照画面						

プロジェクタには、使用するカードに応じた3つのスロットがあります。(図 18)

スロット1は、SMカード用です。
スロット2は、MMC、SD、MSカード用です。
スロット3は、MD、CF (タイプIとII)カード用です。

図 17　　図 18

2-3-2-1　メモリカードの挿入と取り外し

メモリカードを挿入したり取り外すために、電源をオフにする必要はありません。カードにファイルを表示しない限り、メモリカードをいつでもメディアプレーヤーに挿入したりプレーヤーから取り外すことができます。

1. 「メディアプレーヤー」のカバーを開きます。
2. 図17、18のように、メモリカードをソケットに挿入します。(異なるメモリカードを同時に挿入できます)
3. メモリカードが停止するまで挿入します。メモリカードが挿入できない場合は、挿入方向を確認してください。
4. メモリカードを挿入すると、プロジェクタはソースを自動的に検出します。自動的に検出しない場合、プロジェクタのコントロールパネル、またはリモコンの「ソース」ボタンを押して、メディアプレーヤーのソースを選択します。
5. メモリカードを取り外すには、ソケットから引き抜きます。

2-3-2-2　プロジェクタのパネルコントロール

21ページのセクション3-1-1を参照してください。

2-3-2-3　リモコン

22ページのセクション3-1-2を参照してください。

2-3-2-4　メディアプレーヤーの起動画面

メモリカードを同時に挿入すると、図19のようにメモリカード選択画面が表示されます。1枚のメモリカードしか挿入しない場合、図20に示すように画面が直接表示されます。

1. カード選択

   コントロールパネルおよびリモコンの「上」または「下」ボタンを押して、再生したいカードを選択します。

   「セレクト」ボタンを押して確認してください。

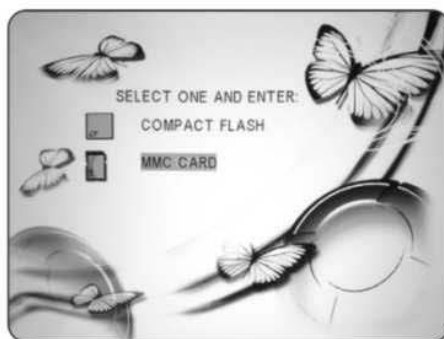



図 19

2. 音楽、写真、ムービー、ファイル が画面に表示されます(図 20)

◆ MP3 ミュージックファイルを再生する

MP3 (MPEGオーディオレイヤ3)はオーディオ圧縮技術のことで、ミュージックファイルを小さなサイズに圧縮します。圧縮されたMP3ファイルはオリジナルのサウンド品質と多少異なりますが、ファイルサイズが小さいため多くの曲を小さなメモリカードに簡単に収納することができます。

1. コントロールパネルおよびリモコンの「右」または「左」ボタンを押して、「MUSIC(ミュージック)」フォルダを選択します。(図 20)
2. コントロールパネルおよびリモコンの「セレクト」ボタンを押してMUSIC LIBRARY(ミュージックライブラリ)を開きます。(図 21)
3. コントロールパネルおよびリモコンの「上」または「下」ボタンを押して、再生したい曲を選択します。「再生」ボタンを押して開始します。

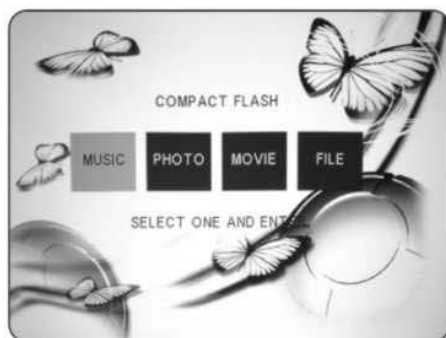



図 20

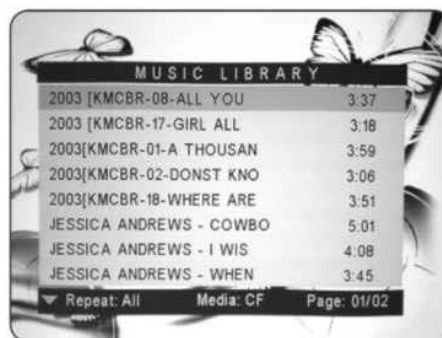



図 21

◆ 写真の表示とスライドショーの再生

画像はJPEG (*.jpg)フォーマットでメモリされます。

写真の表示

1. コントロールパネルおよびリモコンの「右」または「左」ボタンを押して、「PHOTO(フォト)」フォルダを選択します。(図 22)
2. コントロールパネルおよびリモコンの「Enter」ボタンを押すと、PHOTO(フォト)サムネイル画面が開きます。(図 23)
3. コントロールパネルおよびリモコンの「上下左右」ボタンを使用して、希望する写真を選択し、「Play」(再生)ボタンを押して開始します。

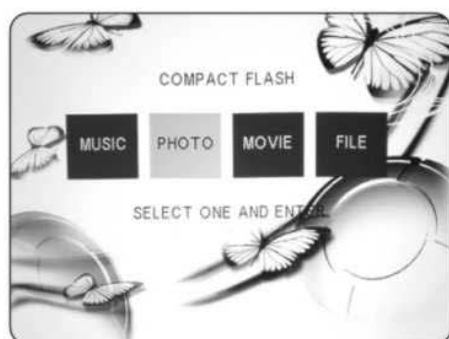



図 22

図 23

スライドショーの再生（スライドショー設定の詳細については、32ページのセクション3-2-3-4のスライドショー設定を参照してください）

Photo（フォト）サムネイル画面が表示されているとき、コントロールパネルの「Slide」（スライド）ボタン、またはリモコンの「Music slide」（ミュージックスライド）ボタンを押してください。ミュージックと共にスライドショーが開始されます。（図 23）

◆ ムービーの表示

メディアプレーヤは、MPEG-1およびMPEG-2ムービークリップの再生をサポートします。

MPEG（Moving Pictures Experts Group）とは、ビデオを圧縮する基準のことです。

1. コントロールパネルおよびリモコンの「右」または「左」ボタンを押して、「MOVIE（ムービー）」フォルダを選択します。（図 24）
2. コントロールパネルおよびリモコンの「上下左右」ボタンを使用して、希望するクリップを選択し、「Play」（再生）ボタンを押して開始します。（図 25）

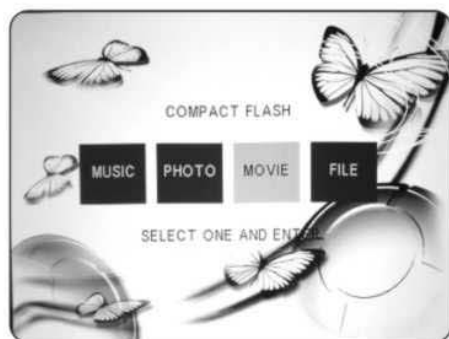



図 24

図 25

◆ すべてのファイルの表示

1. コントロールパネルおよびリモコンの「右」または「左」ボタンを押して、「FILE(ファイル)」フォルダを選択します。(図 26)
2. コントロールパネルおよびリモコンの「Enter」ボタンを押してFILE LIBRARY(ファイルライブラリ)フォルダを開きます。(図 27)
3. コントロールパネルおよびリモコンの「上下左右」ボタンを使用して、フォルダのファイルを表示し、「Play」(再生)ボタンを押して希望のファイルを表示します。

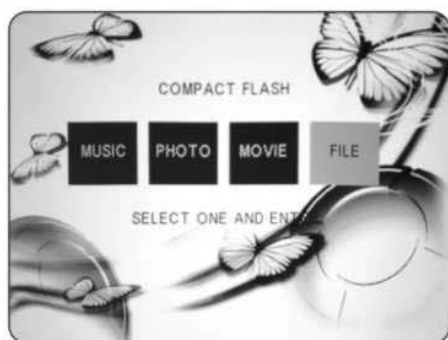



図 26

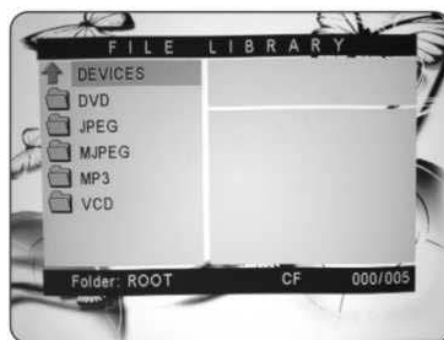



図 27

2-3-3　DVDプレーヤーを操作する

プロジェクタのDVDプレーヤーのスロットにディスクを挿入します。(図 28)

プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。自動的に検出しない場合、コントロールパネルまたはリモコンの「Source」(ソース)ボタンを押して、DVDプレーヤーのソースを選択してください。

コントロールパネルまたはリモコンのPlay「再生」を押して、DVDを再生します。

図 28

2-3-3-1　プロジェクタのコントロールパネル

21ページのセクション3-1-1を参照してください。

2-3-3-2　リモコン

22ページのセクション3-1-2を参照してください。

2-3-4　ワイヤレススピーカーを操作する

2-3-4-1　スピーカーを接続する

図 29

2-3-4-2　スピーカーを操作する

A. スピーカー背面のスイッチングトランスフォーマー(115Vまたは230V)が適切な電圧に選択されていることを確認してください。

B. 電源コードを電源ソケットに接続します。

C. スピーカーの背面パネルの電源スイッチをオンにします。

D. ワイヤレスチャンネルが、プロジェクタの送信機のチャンネルと同じであることを確認してください。
(OSDをチェックしてください。これについては、28ページの「3-2-2-4 オーディオ」セクションを参照してください)

E. スピーカーの背面パネルのメインボリュームを回して、ボリュームを調整します

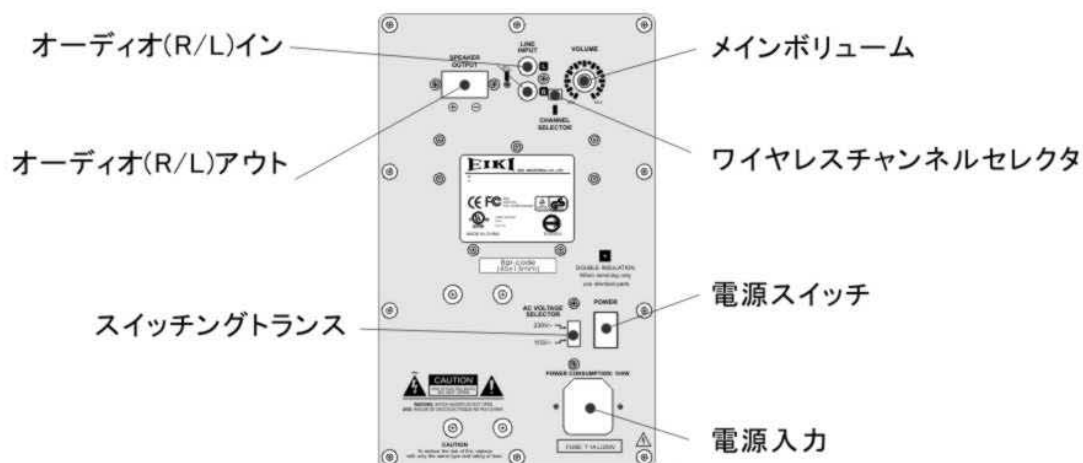



図 30

3. プロジェクタの操作

3-1　コントロールパネルとリモコン

プロジェクタの機能は、コントロールパネルまたはリモコンユニットを利用して制御できます。

3-1-1　コントロールパネルを使用する

図 31

1. MENU(メニュー)ボタン: 画面にOSDを表示します。もう一度押すと、OSDを終了します。
2. UP/SOURCEボタン: このボタンは、上への移動と入力ソースの選択を実行します。
   UP(上): カーソル機能、または選択の調整を実施。
   SOURCE(ソース): "コンポジットビデオ"、"Sビデオ"、"コンポーネントビデオ(YCbCr)"、"アナログYPbPr"、"DVDプレーヤー"、"メディアプレーヤー"、"コンピュータ"、"TV"ソースを選択します。
3. DOWN/SYNC(下/同期)ボタン: このボタンは、下への移動とパソコンとの同期を取ります。
   DOWN(下): カーソル機能、または選択の調整を実施。
   SYNC: パソコンが接続されているとき、パソコンとの同期を取ります。
4. LEFT(左)ボタン: カーソル機能、または選択の調整を実施。
5. RIGHT(右)ボタン: カーソル機能、または選択の調整を実施。
6. ENTERボタン: 選択したアイテムを確定します。
7. EJECT/ROTATE(イジェクト/回転)ボタン: このボタンは、DVDのイジェクトとメモリカード内の写真の回転ができます。
   EJECT(イジェクト): DVDのディスクが挿入されているときは、DVDのディスクがイジェクトされます。
   ROTATE(回転): 写真を画面で左方向に90度回転しますが、スライドショーを再生しているときこの機能は使用できません。
8. II/PAUSE(II/一時停止)ボタン: このボタンは、DVDおよびメディアプレーヤーを一時停止できます。
   II: DVDディスクを再生しているときに、一時停止します。
   PAUSE(一時停止): 写真を再生しているときに、一時停止します。
9. PLAY/SLIDE(再生/スライド): このボタンはDVDの場合は再生、メモリカードの場合はスライドショーを表示します。
   PLAY(再生): DVDディスクを再生します。
   SLIDE(スライド): メモリカードの写真を、音楽付きスライドショートして再生します(メモリカードで使用可能な場合はMP3ミュージック)。
10. ECO: このボタンを押すと、プロジェクタは、エコモードになり、ランプの消費電力を抑えることができます。
11. STANDBY/ON(スタンバイ/オン)ボタン:「プロジェクタの電源オン/オフを切り替える」。

3-1-2 リモコンを使用する

図 32

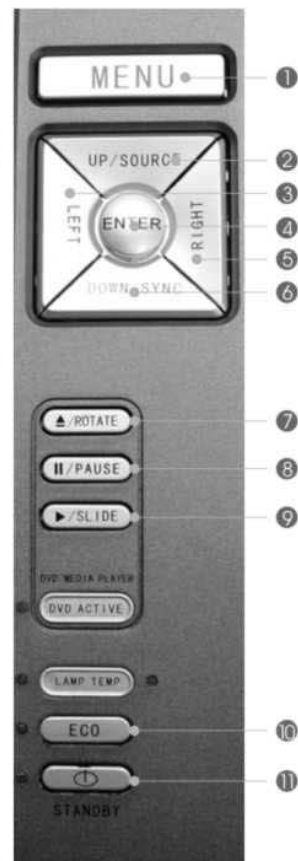



図 33

リモコンには5つのセクションがあります。
LEDインジケータ: リモコンが機能しているとき、LEDが点灯します。点灯しない場合、電池をチェックしてください。

◆ セクションA: 青い文字(プロジェクタ用)

1. POWER(電源): プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます
2. ZOOM-(ズーム-): プロジェクタでの使用に画像を縮小します
3. ZOOM+(ズーム+): プロジェクタでの使用に画像を拡大します
4. MUTE(ミュート): プロジェクタの内部スピーカーまたは外部スピーカーの音声をオフにします。1度押すと音声がオフになり、もう1度押すと音声がオンになります。
5. SLEEP(スリープ): 一定期間の後、プロジェクタがオフになります(必要に応じてタイマを設定できます)
6. FREEZE(フリーズ): 画像を一時停止します。
7. SYNC: PCの信号を最適化します
8. SOURCE(ソース): "コンポジットビデオ"、"Sビデオ"、"コンポーネントビデオ(YCbCr)"、"アナログYPbPr"、"DVDプレーヤー"、"メディアプレーヤー"、"コンピュータ"、"TV"ソースを選択します。
9. KEYSTONE(キーストーン): プロジェクタを傾けることによる画像のゆがみを調整します(+/-12度)
10. ASPECT(アスペクト): アスペクト比を選択します
11. IMAGE MODE(画像モード): 3つのモードを選択できます。
12. MENU(メニュー): 再生デバイスのMENU(メニュー)を表示します。1度押すと表示し、もう1度押すと消えます。

◆ セクションB: 赤い文字(メディアプレーヤー用)

13. PLAY(再生)と PAUSE(一時停止):
    PLAY(再生): プログラムを再生します
    PAUSE(一時停止): プログラムを一時停止します音楽付きスライドショーを再生しているとき、1度押すとスライドショーを一時停止し、もう1度押すとMP3ミュージックを一時停止します。
14. MUSIC SLIDE(ミュージックスライド): 音楽付きスライドショーを再生します
15. Photo(フォト): 写真を再生します
16. PREV/RW
    PREV: 前の写真を選択します
    RW: プログラムを戻します
17. STOP(停止): プログラムを停止します
18. SETUP(設定): 再生システムを設定します
19. ROTATE(回転): 写真を回転します(スライドショーを実行しているとき、この機能は実行できません)
20. NEXT and FW:
    NEXT(次へ): o前の写真を選択します
    FW: プログラムを進めます
21. INFORMATION(情報): 再生中の写真の情報(解像度)を表示します
22. SELECT(選択):
    a. 異なるカードを同時に挿入するとき、希望するカードを選択します
    b. 起動画面に戻ります

◆ セクションC: 黒い文字
これは、すべてのソースで使用できる共通キーです。

23. VOL –: 内部スピーカーまたは外部スピーカーのボリュームを下げます
24. VOL +: 内部スピーカーまたは外部スピーカーのボリュームを上げます
25. UP(上): アイテムを選択しているとき上に移動します
26. LEFT(左): アイテムを選択しているとき左に移動します
27. RIGHT(右): アイテムを選択しているとき右に移動します
28. DOWN(下): アイテムを選択しているとき下に移動します
29. ENTER: 選択を確認します

◆ セクションD: 緑の文字(DVDプレーヤー用)

30. PLAY(再生): プログラムを再生します
31. STOP(停止): プログラムを停止します
32. FF: プログラムを早送りします
33. FR: プログラムを巻き戻します
34. SF: プログラムをスロー再生します
35. SR: プログラムをスロー巻き戻します
36. NEXT(次へ): 次の曲または章を選択します
37. PREV: 前の曲または章を選択します
38. YCbCr: このキーは、このモデルで機能しません
39. YPbPr: このキーは、このモデルで機能しません
40. PAUSE/STEP:
    PAUSE(一時停止): プログラムを一時停止します
    STEP(ステップ): ステップバイステップでディスクを再生します
41. VCD audio(ビデオCDオーディオ): VCD言語の選択。(VCDが2つの言語で記録されている場合)”。この機能は、VCDを再生している間は動作しません。
42. EJECT(イジェクト): DVDプレーヤーからディスクを取り出します
43. SUBTITLE(字幕): 字幕の言語を選択します
44. LANGUAGE(言語): ダブの限度を選択します (ディスクが多言語で記録されている場合)
45. MENU(メニュー): DVDディスクのメニューに入ります
46. SETUP(設定): DVDプレーヤーのOSDに入り、それに応じて必要な機能を設定します。ディスクを再生中に、”輝度”および”エッジ”設定を変更できます

◆ セクションE: 茶色の文字 (TV用)

47. SAP: 2番目のオーディオプログラム
48. AV/TV: AVとTVのモードを変更します
49. CH Jump(チャンネル移動): チャンネル移動
50. CH +: 次のチャンネル
51. CH –: 前のチャンネル
52. Fine tune(微調整): TVチャンネル信号を微調整します
53. 0-9キーは、TVのチャンネルを選択します。

3-2 On-Screenディスプレイメニュー

3-2-1 操作方法

1. オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを表示するには、リモコンまたはコントロールパネルの"menu(メニュー)"を押します
2. OSDが表示されているとき、コントロールパネルまたはリモコンの「上下左右」ボタンを使用して、必要なアイテムを選択します
3. MENU(メニュー)ボタンをもう1度押して、終了します

3-2-2 プロジェクタのOSD

3-2-2-1　メインメニュー

メインメニューには、次のアイテム選択できます:
Image(画像)
Display(ディスプレイ)
Audio(オーディオ)
System(システム)
Language(言語)
TV
"Enter"キーを押してサブメニューに入ります

図 34

3-2-2-2　画像

◆ コンピュータ画像

Brightness(輝度): 画像の明るさを調整します

Contrast(コントラスト): 画面のコントラストを調整します

Frequency(周波数): コンピュータのグラフィックカードの周波数に合うように周波数を調整します

Tracking(追跡): コンピュータのグラフィックカードと信号タイミングを同期させます

Hor. Position(水平位置): 画像の水平位置を移動します

Ver. Position(垂直位置): 画像の垂直位置を移動します

イメージモード:

Computer(コンピュータ): このモードは、コンピュータ信号に適しています

Standard(標準): このモードは、映画の画像に適しています

User(ユーザー): このモードは、お気に入りのガンマカーブを調整します。"RIGHT(右)"キーを押してサブメニューに入ります

High Brightness(高輝度): DMDチップの白ピークレベルを設定します。はっきりした画像がお好みの場合、RIGHT(右)キーを押して値を増加します。自然な画像がお好みの場合、LEFT(左)キーを押して値を減少します

Gamma(ガンマ値): お気に入りのガンマ値を調整します

図 35

サブメニュー

図 36

◆ ビデオ画像

Brightness(輝度): 画像の明るさを調整します

Contrast(コントラスト): 画像のコントラストを調整します

Color Satur.(色の濃さ): 画像の彩度を調整します

Sharpness(シャープネス): 画像の鮮明度を調整します

Tint(色合い): 画像の赤と緑の色バランスを調整しますadjust the color balance of red and green of image.

イメージモード:
「コンピュータ画像」の「イメージモード」の説明を参照してください。

図 37

3-2-2-3　ディスプレイ

Aspect Ratio(アスペクト比): 希望するアスペクト比を選択します

Zoom(デジタルズーム): 画像を拡大または縮小します

Keystone(キーストーン): プロジェクタを傾けたことで発生する画像のゆがみを調整します

Color Temperature(色温度): 画像の色温度を調整します。色温度が高くなれば、画像は冷たくなります。色温度が低くなれば、画像は温かくなります。

色温度がユーザーモードに設定されているとき、DOWN(下)キーを押して赤、緑、青調整を選択します

Red, Green, Blue(赤、緑、青): お望みの色温度に調整します

図 38

3-2-2-4　オーディオ

Volume(ボリューム): 内部またはワイヤレススピーカーのボリュームを調整します

Treble(高音): 内部またはワイヤレススピーカーの高音を調整します

Bass(低音): 内部またはワイヤレススピーカーの低音を調整します

Mute(ミュート): プロジェクタまたはワイヤレススピーカーの内部スピーカーの音声をオフにします

Int/Ext Speaker(内部/外部スピーカ切替): 内部スピーカーまたはワイヤレススピーカーを選択します

Wireless CH.(ワイヤレスチャンネル): サブウーファのチャンネルがプロジェクタのチャンネルと同じであることを確認してください

サブメニュー

図 39

図 40

3-2-2-5　システム

OSD Location(OSD位置): ディスプレイ画面のOSDの位置を選択します

Projection(投影): 映写方向を選択します

Front(前面): 出荷時設定。映写位置は画面の前面にあります

Front Ceiling(前面シーリング): 天井にマウントされた映写用に画像を上下逆さまにします

Rear(背面): 半透明画面の背後に投射するために、画像を裏返します

Rear Ceiling(背面シーリング): 天井にマウントされた映写で半透明画面の背後に投射するために、画像を裏返しにすると同時に上下逆さまにします

図 41

Lamp Hours(ランプ時間): ランプの使用積算時間を表示します

Lamp Reset(ランプリセット): 新しいランプに交換した後に、ランプ使用時間をリセットします

Auto Source(自動入力ソース選択): 入力ソースを自動的に検出します

Factory Reset(出荷時設定): すべてのメニューのすべてのアイテムを出荷時の設定に戻します

3-2-2-6　言語

必要な言語を選択します

図 42

3-2-2-7　TV

リモコンの「AV/TVボタン」を押して、TVモードにする

Auto Search(自動検索): チャンネルを自動的に検索します

図 43

Add Channel(チャンネルの追加): 必要なチャンネルを追加します

Del Channel(チャンネルの削除): 必要としないチャンネルを削除します

Fine Tune(微調整): TVチャンネルの周波数を微調整します

ボリュームモード:

Mono(モノ): モノラルサウンドを出力します

Stereo(ステレオ): ステレオサウンドを出力します

Sub-Language(サブ言語): メインの言語をサブ言語に変更します

TV System(TVシステム): NTSCまたはPALシステムを選択します

NTSC: Country(国)を選択します

PAL: 地域とボリュームシステムを選択します

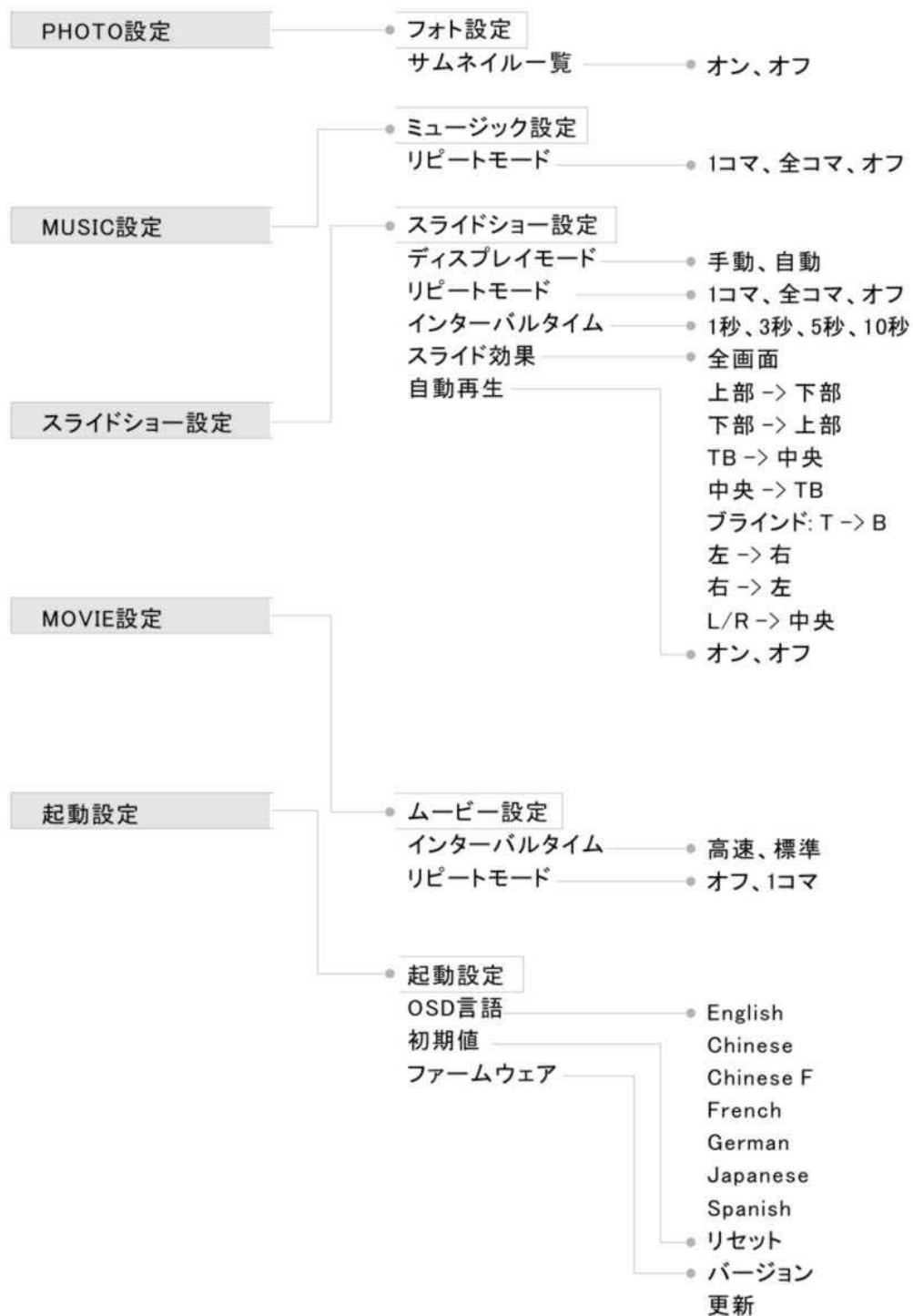
サブメニュー

図 44

サブメニュー

図 45

3-2-3 メディアプレーヤーのOSD

リモコンの「SETUP」ボタンを押して、メディアプレーヤーのOSDに入ります。

3-2-3-1　メインメニュー

MAIN Menu（メインメニュー）は、リモコンからのみ操作可能です。

1. 「Setup（設定）」ボタンを押して、画面のメインメニューを表示します
2. 「Up（上）」または「Down（下）」ボタンを押して、希望する項目を選択します
3. 「Enter」ボタンを押してサブメニューに入ります

図 46

3-2-3-2　PHOTO設定

デジタルカメラは、撮影した写真のサムネイルを自動的にメモリします。これらのサムネイルは高速でロードし、写真を簡単に表示できます。

メディアプレーヤーは、これらのサムネイルを検出して表示できます。PHOTO SETUP（フォト設定）画面は、THUMBNAIL DIGEST（サムネイルダイジェスト）のオン/オフを切り替えます。

サブメニュー

図 47

図 48

3-2-3-3　MUSIC設定

サブメニュー

図 49

図 50

◆ リピートモード

ONE(1コマ) - 選択した曲を繰り返します。

ALL(全コマ) - メモリカードのすべての曲を繰り返します。

OFF(オフ) - すべての曲を繰り返しません。

3-2-3-4　スライドショー設定

◆ ディスプレイモード: スライドショーを自動的に開始するかどうかを設定します。

◆ リピートモード: フォルダのすべての写真を1度表示するか連続表示(ループ)するかを設定します。

◆ インターバルタイム: 各写真の表示時間を設定します(1、3、5、または10秒)。

◆ スライド効果:

FULL SCREEN(全画面): 画像は全画面表示されます

TOP -> BOTTOM(上部 -> 下部): 画像は上から下へ表示されます

BOTTOM -> TOP(下部 -> 上部): 画像は下から上へ表示されます

TB -> CENTER(TB -> 中央): 画像は上および下から中央へ表示されます

CENTER -> TB(中央 -> TB): 画像は中央から上および下へ表示されます

BLIND: T -> B(ブラインド: T -> B): 画像は上から下へブラインドに表示されます

LEFT -> RIGHT(左 -> 右): 画像は左から右へ表示されます

RIGHT -> LEFT(右 -> 左): 画像は右から左へ表示されます

L/R -> CENTER(L/R -> 中央): 画像は右および左から中央へ表示されます

図 51

サブメニュー

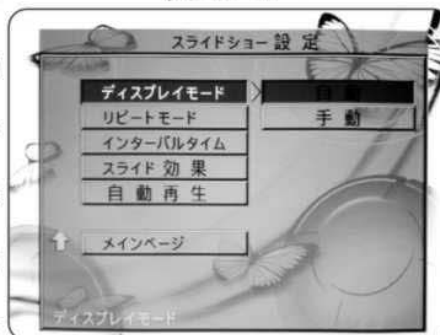



図 52

◆ 自動再生: オンになっているとき、カードを挿入するとメモリカードのすべてのメディアが自動的に再生されます。

3-2-3-5　MOVIE設定

◆ インターバルタイム

FAST(高速): サムネイルビューでのムービー再生の短いプレビュー

NORMAL(標準): サムネイルビューでのムービー全体の再生

◆ REPEAT MODE(リピートモード)

OFF(オフ): REPEAT MODE(リピートモード)がオフになっています

ONE(1コマ): 選択したムービーを連続再生します

ALL(全コマ): メモリカードのすべてのムービーを連続再生します

サブメニュー

図 53

図 54

3-2-3-6　起動設定

このメニューは、サービスマン専用です。

◆ OSD LANG(OSD言語) - OSD言語を選択します

◆ DEFAULTS(初期値) - 初期値に戻ります

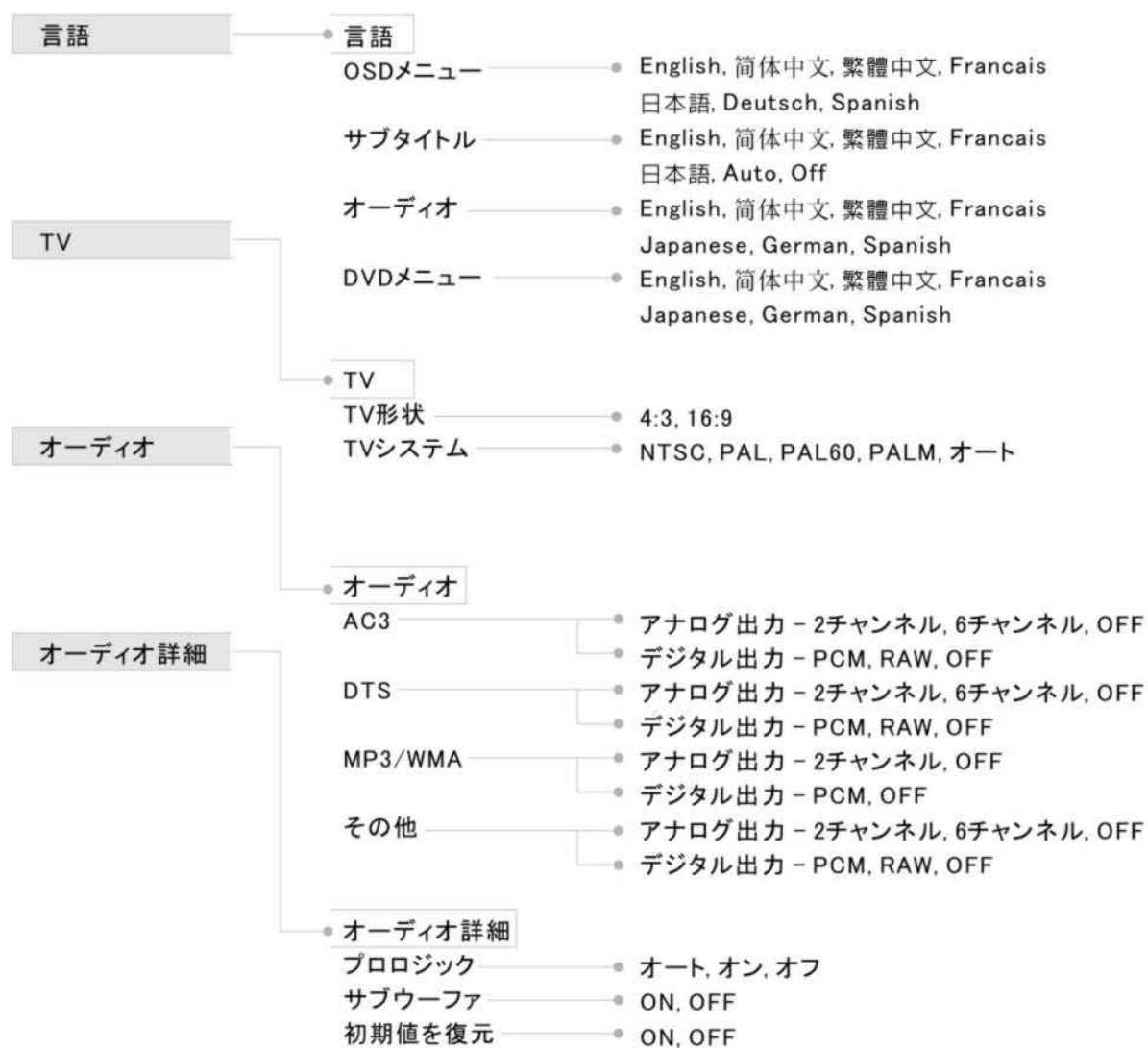
◆ FIRMWARE(ファームウェア) - ファームウェアを更新します

サブメニュー

図 55

図 56

3-2-4　DVDプレーヤーのOSD

リモコンの「SETUP(設定)」ボタンを押して、DVDプレーヤーのOSDに入ります。

3-2-4-1　メインメニュー

MAIN Menu（メインメニュー）は、リモコンからのみ操作できます。

1. 「Setup（設定）」ボタンを押して、画面にメインメニューを表示します
2. 「Right（右）」または「Left（左）」ボタンを押して、希望するアイテムを選択します
3. 「Enter」ボタンを押して、サブメニューに入ります
4. 「Up（上）」ボタンを押してメインメニューに戻ります
5. 「Setup（設定）」ボタンを押してメニューを終了します

図 57

3-2-4-2　言語

OSDメニュー
OSDメニューの言語を選択します

字幕
字幕の言語を選択します

オーディオ
ダブの言語を選択します

DVDメニュー
DVDメニューの言語を選択します

図 58

3-2-4-3　TV

図 59

TV形状
2種類のアスペクト比を選択できます:

4:3: 画像は4:3で表示されます

16:9: 画像は16:9ワイドスクリーンで表示されます

TVシステム
必要とするシステムを選択します。(NTSC ,PAL,PAL 60,オート)

3-2-4-4　オーディオ

AC3
アナログ出力: 必要とするチャンネルを選択します(2または6チャンネル、OFF)
デジタル出力: PCM、RAW、OFF
RAW: デジタル信号出力
PCM: アナログ信号出力
ステレオスピーカーを使用しているときは、2チャンネルとPCM出力を選択してください

DTS
アナログ出力: 必要とするチャンネルを選択します(2または6チャンネル、OFF)

デジタル出力: PCM、RAW、OFF

図 60

MP3/WMA
アナログ出力: 必要とするチャンネルを選択します(2チャンネル、OFF)

デジタル出力: PCM、OFF

その他
アナログ出力: 必要とするチャンネルを選択します(2または6チャンネル、OFF)

デジタル出力: PCM、RAW、OFF

3-2-4-5　その他

プロロジック

オート: 初期設定。DVDプレーヤーは2チャンネルから6チャンネルに出力を自動的に変更します

ON: 機能は常にオンに設定されます

OFF: 機能をオフに設定します

サブウーファ

ON: サブウーファをオンに設定します

OFF: サブウーファをオフに設定します

初期値の設定

ON: 初期値を設定します

OFF: ユーザー設定を維持します

図 61

4-1 故障かなと思ったら

1. 画像が表示されない

   - プロジェクタの電源入力とコンセントの電源ケーブル接続をチェックしてください。
   - プロジェクタの背面にあるメインの電源スイッチをオンにしてください。
   - スタンバイ/オンボタンインジケータをチェックしてください。(セクション3-1)
   - レンズキャップを取り外してください。
   - ソースデバイスがプロジェクタと出力信号にしっかり接続されていることを確認してください。
   - プロジェクタまたはリモコンの「ソース」ボタンを押して、正しいソースを選択してください。

2. 画像がぼやける

   - プロジェクタと画面の距離がレンズのフォーカス範囲内にあることを確認してください(セクション2-2)。
   - フォーカスリングを調整してください。

3. 画像が暗い

   - プロジェクタの画像メニューのコントラストまたは輝度を正しく調整してください。
   - DVDプレーヤーの設定メニューの輝度を調整してください。
   - ランプが寿命に達してはいませんか? その場合、新しいランプに交換してください。

4. コンピュータの画像が不安定である、またはプロジェクタが画像全体を映写しない

   - プロジェクタまたはリモコンの「SYNC」ボタンを押して、コンピュータの出力信号を同期化してください。
   - 「画像」メニューを使用して、追跡または周波数を調整してください。
   - モニタディスプレイの解像度設定が1024 x 768以下になっているか、確認してください。

5. 16:9 DVDを表示しているとき、画像が引伸ばされる

   - プロジェクタのOSDで「アスペクト比」を調整してください。
   - OSDまたはDVDプレーヤーで、「TV設定」を調整してください。

6. 音が出ない

   - オーディオメニューのミュートオプションがオフになっていることを確認してください。

◆ DVDプレーヤーのOSDのオーディオメニューが、正常に設定されているか確認してください。

◆ オーディオメニューの内部/外部スピーカーオプションを、必要に応じて設定してください。

◆ プロジェクタのワイヤレス送信機のチャンネルが、ワイヤレススピーカーのワイヤレス受信機のチャンネルと同じになっているか、確認してください。

7. ワイヤレススピーカーから雑音が出る

◆ プロジェクタとワイヤレススピーカーのチャンネルを同時に変更してください。8つのチャンネルを選択できます(セクション3-2-2-4を参照してください)

8. リモコンが機能しない

◆ 新しい電池をセットしてください。

◆ リモコン送信部とプロジェクタ受信部との間に障害物がないか、確認してください。

◆ リモコンの使用範囲内で使用してください。

9. メモリカードを読み取れない

◆ メディアプレーヤーのLEDインジケータが点灯しているか、確認してください。

◆ メモリカードの互換性をチェックしてください(セクション2-3-2を参照してください)。

◆ メモリカードを入れなおしてください。

10. DVDを再生できない

◆ (プロジェクタのコントロールパネルで)DVDプレーヤーのLEDインジケータを確認してください。

◆ ディスクはオリジナル版です。

◆ ディスクを取り出して、再び再生してください。

11. ディスクが再生できない、またはローディング後に自動的に排出される

◆ ディスクにほこりが付いていないか、また傷が付いていないか確認してください。

◆ ディスクのラベル面を上にしてロードしていないか、またディスクトレイガイドに正しくそろえてロードしているか確認してください。

◆ ディスクフォーマットがプロジェクタのDVDプレーヤーの仕様と互換性があるか確認
◆ してください。仕様を確認してください。

12. DVDオーディオ再生が停止する

◆ ディスクが違法コピーされている可能性があります。

4-2 保守

4-2-1 ランプについての安全上のご注意

プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たらすみやかに新しいランプと交換してください。
- ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。万一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入るおそれがあります。

▲ ランプが破裂した場合

プロジェクタ内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクタ内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクタ内部の清掃とランプの交換、プロジェクタ内部の点検をご依頼ください。

▲ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクタランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行なってください。

新しいランプに交換してください”というメッセージが表示されたら、すみやかに新しいランプと交換してください。
ランプの品番 ： 080-DH20-00020

ランプを交換するには、次の手順に従います

1. 電源ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。
2. プロジェクタが冷却するまで、少なくとも1時間待ちます。
3. 電源をオフにして、電源コードを抜きます。
4. ランプカバーのネジを緩め、ランプカバーを取り外します。(図62)
5. ランプモジュールのネジを1本緩めます(図63)。ハンドルを引っ張ってランプモジュールを取り外します(図64)。
6. ソケットに新しいランプモジュール(図65)を挿入します。正しい場所に挿入されているか、確認してください。
7. ステップ4、5を逆に行います。
8. ランプカバーがしっかり取り付けられていることを確認してください。ランプカバーが正しく取り付けられていないと、装置は作動しません。
9. ランプタイマをリセットします。

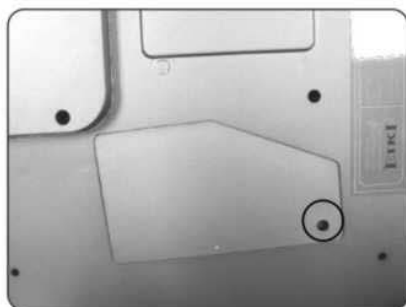



図 62

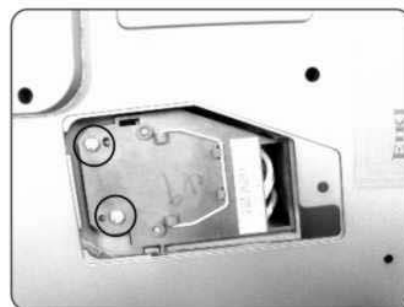



図 63

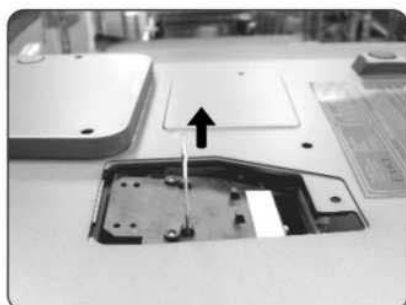



図 64

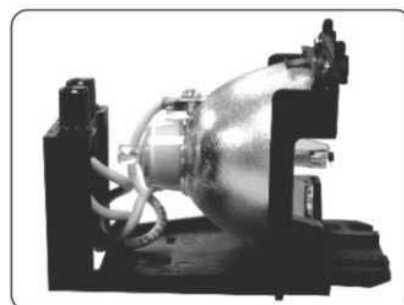



図 65

ランプタイマをリセットするには、次の手順に従います

1. コントロールパネル、またはリモコンのMenu(メニュー)ボタンを押します。
2. システムメニューに入ったら、カーソルをランプリセットアイテムまで移動します。
3. 「はい」を選択してランプリセットを実行すると、ランプ時間は0時間にリセットされます。

図 66

4-2-2　プロジェクタをクリーニングする

キャビネットをクリーニングする

乾いた、柔らかい布で軽く拭きます。キャビネットの汚れがひどい場合、市販のクリーナーを使用して軽く湿らせた布で拭き取り、乾いた布で仕上げをします。シンナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。

レンズをクリーニングする

レンズに傷が付かないように、ブロワーやレンズペーパーを使用してレンズを拭いてください。

4-3　仕様

ビデオ信号方式	NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43
表示可能解像度	SXGA(圧縮)/XGA/SVGA/VGA/MAC
画面サイズ	35"~300"
映写距離	1.5m ~ 10m
照度	1700 ANSI Lumens
コントラスト比(全白／全黒)	2000 : 1
投影方式(パネルサイズ)	0.7" DDR DMD XGA
カラーホイール	4要素(RGBW)
画素数	786,432 (1024 x 768) x 1
TV本数	480 TV本(S-Video)
投射レンズ	F2.8 ~ 3.1, f=25.8 ~ 30 mm
レンズシフト	なし (UD比 10:0)
光源	250W, ランプライフ2000時間(エコモード3500時間)
デジタルズーム機能	最大32倍 (XGA)
デジタル台形補正機能	上下12度
脚部による仰角補正	15度
走査周波数	水平:15kHz ~ 82kHz, 垂直:50Hz ~ 85Hz
使用温度	5℃ ～ 35℃
ファンノイズレベル	32dBA
コンピュータ信号入力	Dsub15 x 1
コンピュータ信号出力	Dsub15 x 1
ビデオ信号入力／音声入力	RCA x 1(コンポジット), RCA x 3(コンポーネント), ミニDIN 4ピン x 1(Sビデオ) ／ RCA x 2 (R,L- mono)
音声信号出力	ミニジャック 3.5mm x 1
内蔵スピーカー	2W x 1
ワイヤレススピーカー仕様	ワイヤレス出力25W x 2, 寸法(HxWxD): 270x170x180mm, 質量: 8.35Kg(2個分)
定格使用電源	100 ~ 240V, 50 ~ 60Hz
消費電力	330W
寸法	374 x 290 x 92mm (14.7" x 11.4" x 3.6")
質量	4.5Kg (10 lb)
付属品	電源コード、VGAケーブル、コンピュータ音声ケーブル、 MACアダプター、リモートコントロール、ソフトキャリーバッグ、 取扱い説明書、ワイヤレススピーカー(2個)
オプションアクセサリー	ダイナミック、ワイヤレススピーカー、 ワイヤレススピーカー用バッグ